

イノベーションネットアワード受賞事例にもとづく地域イノベーション手法研究会の開催について

全国イノベーション推進機関ネットワーク事務局

1. 開催趣旨

全国イノベーション推進機関ネットワーク（イノベーションネット）は、2012年度から日本各地での新事業・新産業創出推進を目的に、地域特性に応じて地域産業を支援して優れた成果を上げている産業支援機関・商工団体・技術支援学術教育研究機関・金融機関等の取組みをイノベーションネットアワードとして表彰しています。この度、これまでに表彰された47事例を活用して地域の特性に合わせた地方創生・地域発イノベーションを促進する手法を考える「研究会」を新潟で開催することといたしました。

新潟県は、従前から優れた地域資源の豊富な地域であり、これまでも多数の優れたブランド品などを国内外に提供してきたところですが、昨今、少子高齢化等により国内市場が縮小する中、地域間競争が益々激化しており、一方、インバウンド消費の盛り上がりなど新たな動向が生じています。これらの動向に対応し、今後一層新製品開発支援や販路開拓支援、ブランドづくり、ブランド力向上、産業の高付加価値化を支える人材育成支援などのニーズが高まっています。このため、本研究会ではこれらのニーズを踏まえ新潟県の今後の成長戦略に資する2つの事例を取り上げ、実際にプログラムを実施した機関から掘り下げたお話を伺い、講師を含めた意見交換を行います。地方創生や地域イノベーション創出のため、日頃ご尽力されている皆様のお役に立つものと確信しております。

つきましては、地域産業支援に対する理解を深めるとともに、今後各地での支援に生かしていこうとする皆様のご参加をお待ちしています。

2. 申込み方法：参加ご希望の方々は、別紙申し込み書にご記入の上、E-mail もしくは FAX にて、9月3日（月）までにご返送下さい。

3. 開催日時：平成30年9月12日（水）14：00～17：00

4. 開催場所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター3F 小会議室（306・307）
（新潟県新潟市中央区万代島6-1） <https://www.tokimesse.com/>

5. 参加対象：主に新潟県内の市町村、産業支援機関、商工団体、金融機関、大学等で地域産業支援活動に携わる職員・コーディネータ等

6. 参加人数：30名程度

希望者が多い場合は、申込みをされても参加をお断りする場合がございます。

7. 研究会プログラム内容：

項目	内容	担当	時間
開会挨拶		全国イノベーション推進機関ネットワーク 事務局参与 鷺坂 正	
施策説明	地域未来投資について説明	経済産業省関東経済産業局 地域経済部 次長 青木 宏 氏	20分
イノベーションネットアワード活用について	イノベーションネットアワードの表彰事業の趣旨及び活用方策について説明	全国イノベーション推進機関ネットワーク事務局 次長 梶川 義実	10分
受賞事例報告	受賞事例につき、 ① プログラムを導入した背景・理由 ② プログラムの概要 ③ プログラムをうまく回すための工夫 ④ プログラム実施による経済効果等を講演	地域資源を活用した地域発イノベーション創出型人材育成事業について 和歌山県田辺市企画部たなべ営業室 主任 鍋屋 安則 氏 『食と農林漁業を柱とした地域産業政策「フードバレーとかち」』について 北海道帯広市産業連携室 室長 植松 秀訓 氏	80分
グループディスカッション（2グループ）	講演内容及び地域の将来ビジョンをもとに、地域発イノベーションの創出により、地域経済活性化を図るための手法について討論	事例講師、受賞事例担当 参加者 全国イノベーション推進機関ネットワーク事務局	50分

全国イノベーション推進機関ネットワーク 事務局 担当 渡辺、大石
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
東京 YWCA 会館 8F (一財)日本立地センター内
TEL : 03-3518-8973 FAX : 03-3518-8970
E-mail : awards@jilc.or.jp URL : <http://www.innovation-net.jp>